

	鳥取大学 医学系分野
学部・研究科名	<p>医学部（第1年次：145 第2年次：5）</p> <p>※第1年次：医学科、生命科学科を記載。</p> <p>※第2年次：医学科を記載。</p> <p>医学系研究科（M：21 D：42）</p> <p>※M：生命科学専攻、機能再生医科学専攻を記載。</p> <p>※D：医学専攻、生命科学専攻、機能再生医科学専攻を記載。</p>
沿革・設置目的	<p>医学に関する教育・研究を行うことを目的に、官立米子医学専門学校、米子医科大学を経て、昭和24年（1949年）、鳥取大学医学部として設置された。</p> <p><u>昭和24年（1949年） 鳥取大学設置と同時に医学部設置</u></p> <p>昭和33年（1958年） 大学院医学研究科設置（平成6年（1994年）医学系研究科に改組）</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p>
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医学部の教育目標に基づき、鳥取大学の特色である「ヒューマン・コミュニケーション」授業等の人間性涵養教育による全人的医療人養成、地域社会のみならず国際的に貢献できる創造的な医師・医学研究者等の養成を積極的に推進する。 ○ 低侵襲ロボット手術や人工染色体・幹細胞操作技術等に関する技術等を始めとする研究の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。特に、臨床研究者及び生命科学・基礎医学研究者の養成を積極的に推進し、臨床や産業界との橋渡しができる人材を育成する。 ○ 鳥取県の医師不足の解消に貢献するため、県内の地域医療の中核を担う医師の養成を積極的に推進するとともに、鳥取県と連携し、県内の地域医療を担う医師の確保及びキャリア形成を一体的に支援し、医師の偏在解消に貢献する。 ○ 県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や都道府県がん診療連携拠点病院、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、第二種感染症指定医療機関等としての取組を通じて、鳥取県における地域医療の中核的役割を担う。